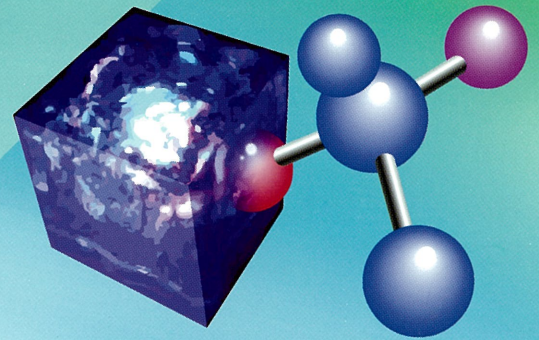
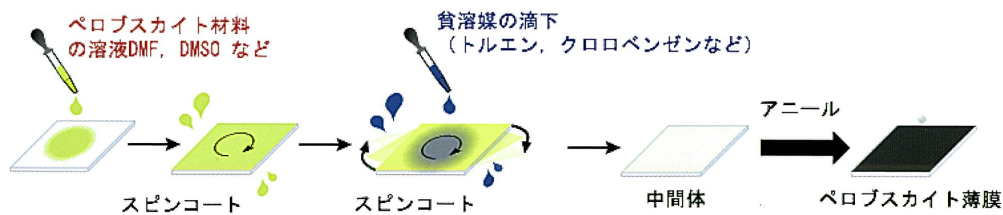


京都大学 物性科学 センター誌

(LTM センター誌)



Low Temperature and Materials Sciences [Kyoto University]



20%の光電変換効率を示す塗布型太陽電池：ペロブスカイト薄膜の作成方法

第33号
2018.12

目 次

第 33 号 2018 年 12 月

研究ノート

- 高性能塗布型ペロブスカイト太陽電池のための材料化学
..... 若宮淳志 ... 3
- 超ワイドバンドギャップ半導体 AlN における励起子再結合過程の同定
..... 船戸充, 市川修平, 川上養一 ... 10

運営状況

- 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 18
- 環境安全保健機構併任教員..... 20

投稿案内..... 21

編集後記..... 22

Table of Contents

Research Reports

Materials Chemistry for Efficient Printable Perovskite Solar Cells
..... Atsushi Wakamiya ... 3

Clarifying exciton recombination paths in ultrawide-bandgap
semiconductor AlN M. Funato, S. Ichikawa, and Y. Kawakami ... 10

From Organizing Committee

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus
..... 18

Concurrent Staffs of the LTM Center 20

Call for Manuscript 21

Editor's Note 22

「京都大学物性科学センター誌（LTMセンター誌）」への投稿のお誘い
並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

吉村一良^{1,2}, 編集委員会²

¹京都大学大学院理学研究科, ²京都大学物性科学センター

K. Yoshimura^{1,2} and Editorial Committee²

¹Graduate School of Science, Kyoto University,

²Research Center for Low Temperature and Materials Sciences, Kyoto University

所属の後にAbstractを数行、英文で書いてください。

1. はじめに

「京都大学物性科学センター誌（通称：LTMセンター誌，英文名：Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)）では，環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」，「技術ノート」，「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は，編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。投稿にあたっては，電子ファイルを下記[†]宛にお送りください。また，併せて印刷原稿も[†]宛に郵送または持参いただきますようお願いいたします。初校刷りは電子ファイルより作成しますので，以下第2章を御参照のうえMS-Wordを用いて作成してください。InDesignまたはQuarkXPressのファイルでも結構です。また，pdfファイルも併せてお送りください。なお，編集委員会からの原稿依頼も行いますので，依頼させていただいた際にはよろしくお申し上げます。

2. 原稿の作成要領

A4用紙（レターサイズではありません）の上下左右に25 mm ずつマージンをとって，和文表題，英文表題，和文著者・所属，英文著者・所属，アブストラクト（英文），本文，参考文献，著者写真（35mm（幅）×40mm（高さ）），著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は，必ず上から5 cm程度余白を空けて表題を書いてください。本文1行あたり全角45文字，1ページあたり40行を基準にしてください。漢字・かな・カナにはMS明朝，英字・数字には必ずTimes New Roman，本文中の見出しにはMSゴシック（またはこれらに準じる書体にしてください。ボールドは避けてください。）を使用してください。表題は14 point，著者・所属は12 point，本文は10.5 point，図・表のキャプションは10 pointの文字を用いてください。本文中，物理記号を表す記号は斜体（イタリック），単位記号は立体（ローマン）で表記し，物理量と単位の間や数字と記号の間にはスペースを1個入れてください。また，章の間にもスペースを1行設けてください。句読点は「.,」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので，できるだけカラーの図を使用してください。印刷原稿の右下に鉛筆でページ番号を振ってください。その他の細部については，本稿ならびに下記Ref. [1,2] のスタイルを参考にしてください。

参考文献

[引用番号] 著者名，雑誌名，巻数，最初のページ番号，年の順でお願いします。
例)

[1] 寺嶋孝仁，京都大学物性科学センター誌 **30**, 26 (2016).

[2] K. Yoshimura, Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University) **1**, 13 (2003).

[†] 京都大学物性科学センター誌編集委員会，〒606-8501京都市左京区吉田本町，
TEL : 075-753-9521, FAX: 075-753-9521, E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁) .

編集後記

本センター誌は前身の「低温物質科学研究センター誌」の頃より、6月と12月の毎年2回発行しております。例年12月発行分の編集作業を行っている頃はちょうど紅葉の盛りになります。LTM 研究棟からは南側のきれいに色づいた木々越しに吉田山から東山方面が見渡せ、一年を通して最も美しい時を迎えています。

本年は安定した体制で運用されている寒剤供給サービスに加え、クリーンルーム、NMR についての共同利用体制が整備され、旧 LTM センター改組の目的である研究支援体制の充実に向けて着実な進歩を遂げた一年になりました。

また、本号から編集陣にも新しい方に加わっていただきました。今後、より充実した体制で京大の幅広い研究を紹介していきたいと考えております。ますますのご支援をお願いいたします。

T. T.

京都大学 物性科学センター誌 (LTM センター誌)

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第33号 2018年12月 Volume 33, December 2018

編集委員会：寺嶋 孝仁 (編集委員長), 吉村一良,
矢持 秀起, 石田 憲二, 中村 裕之,
笠原 裕一, 藤原 直樹, 前里 光彦, 藤田 晃司

事務局：〒 606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学環境安全保健機構 物性科学センター
Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp (寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷株式会社

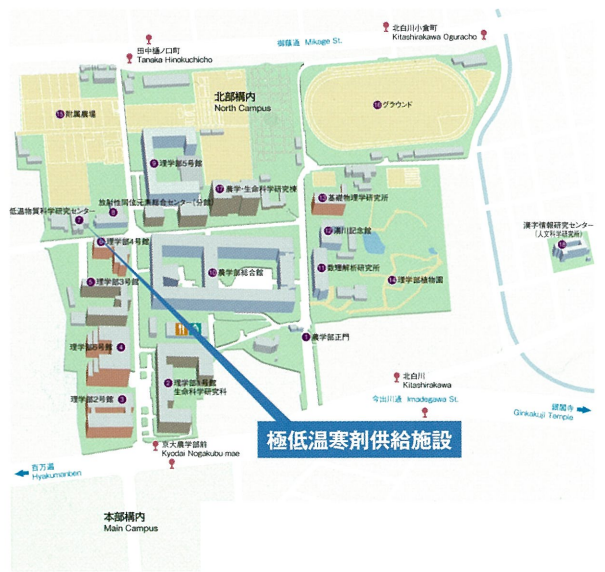
研究ノート

- p3 高性能塗布型ペロブスカイト太陽電池のための材料化学
若宮 淳志
- p10 超ワイドバンドギャップ半導体AIN における
励起子再結合過程の同定
船戸 充, 市川 修平, 川上 養一

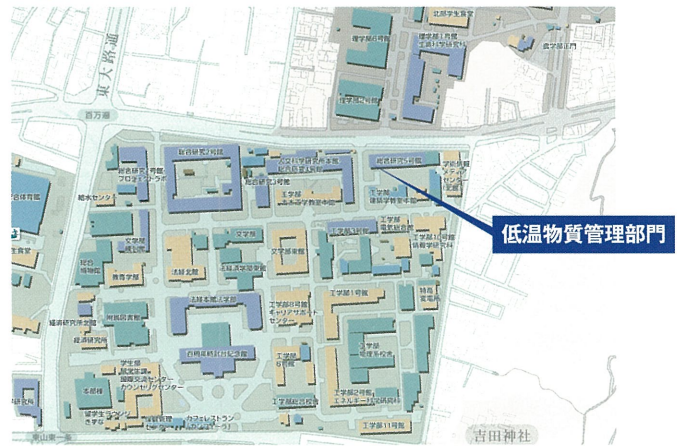
運営状況

- p18 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス
- p20 環境安全保健機構併任教員
- p21 投稿案内
- p22 編集後記

吉田キャンパス (北部)



吉田キャンパス (本部)



宇治キャンパス



桂キャンパス

